

## 研究計画概要

助成年度・種別	2019年度 若手研究助成
研究者	大江 将貴
所 属	京都大学
研究テーマ	非行少年の「立ち直り」における復学のプロセス
研究計画概要	<p>本研究の目的は、非行少年の「立ち直り」における復学の具体的なプロセスについて明らかにすることである。</p> <p>平成 24 年に「再犯防止に向けた総合対策」が策定され、平成 28 年には再犯防止推進法が施行されているように、再犯防止は日本社会で重要な政策的課題となっている。特に犯罪・非行からの「立ち直り」の文脈において、児童自立支援施設の退所者や少年院出院者といった、施設への入所経験がある非行少年にとって重要だと考えられるのは、高卒学歴を取得するための学び直しの場合である。そして、日本社会においては、社会的排除の防止という点でも、高卒学歴はきわめて重要なものとなっている。</p> <p>しかし、犯罪・非行からの「立ち直り」に関する研究において、非行少年の復学には十分な関心は向けられてこなかった。そこで本研究では、復学のプロセスを検討するために、元非行少年に対する継続的なインタビュー調査と、少年院や児童自立支援施設の職員に対する質問紙調査を実施する。少年のみではなく、少年院や児童自立支援施設の職員の視点も分析に加えることで、少年の復学のプロセスをより具体的に把握することができるものと考えられる。</p>
選考委員からのコメント	<p>非行少年の「立ち直り」について復学に焦点をあて、非行少年に対する縦断的な質的インタビュー調査と、少年院等の職員に対する量的調査によって、復学プロセスを明らかにしようとする点に、研究の意義が認められる。研究計画は手堅く、準備状況も良好であることから、成果の産出が期待できる。</p>